

金山・蘇武山系の蝶類

谷角素彦^{*}・足立義弘^{**}

はじめに

金山の蝶類については、谷角(1978)により55種が記録報告されている。我々は、1978年の但馬むしの会の活動として、阿瀬溪谷、金山峠はもとより、更に採集調査地域を拡げ、村岡町側の西斜面、蘇武ヶ岳、神鍋側まで足を伸ばし、この山系で、新たに29種の蝶を採集記録することが出来た。ここに、「金山・蘇武山系の蝶類」として発表する。

尚、我々と何度か採集調査を共にし、レポート作成にあたって多数の資料を提供して下さった木下賢司氏には、共同執筆者といってもよいほどに、いろいろとお世話になった。感謝したい。また、若林守男氏、高田忠彦氏も、我々の不勉強にもかかわらず、何時も、暖かい目で見守り御指導下さる 誌上を借りて厚くお礼申し上げる。

金山・蘇武山系の自然環境並びにその現況

金山・蘇武山系は、その自然環境に於いて、雑多な顔を有している。大雑把に見ても、金山峠から東の日高町金屋側は溪谷、峠付近の尾根筋から村岡町側へと落ちる西斜面には疎林・草原が発達、蘇武ヶ岳付近はブナを中心とした落葉広葉樹林で特徴づけられる、といった具合である。更に、林道という人間の手による新しい要素も加わりつつあり、これらの自然環境も徐々に変化を来しつつある。

日高町金屋から金山峠に至るまでの約6kmの阿瀬溪谷は、この山系では、我々が最もよく親しんだ地域であり、また、ハイカーにもよく利用されるコースでもある。

この地域は、全体を通して湿潤であり、谷地といった観がある。植物相については、多種にわたり、かつその密度は高い。また、このような地形や植生の状態は、適度の湿気と水の供給の安定を窺わせ、この地を乾燥や強風の害からも護っている。現在のところ、人工的に急激な変化を加えない限りは、安定した地域と

* 現住所 567 大阪府 茨木市

** 現住所 616 京都市

みなすことが出来よう。このような環境は、蝶にとっての安定した生息地になっている。

しかし、目下、進行中の金山峠を通過する林道工事による溪谷上部樹林の伐採、山の切り崩しなどの影響で露出部分が増え、水供給を中心とした生態系のバランスが壊される恐れがある。

峠付近の尾根部と尾根から村岡町側にかけての西斜面には、疎林とそれに付随する草原が発達している。主としてカシワの疎林から成り、その林床は、ススキを中心に、シダ類、ササで覆われた草原となっている。また、この斜面の中腹部は、牧畜に利用されている。このような環境の成立した要因として、伐採と人工的な火入れが行なわれたことがあげられる。

この地域は、概して、日当たりが良く、乾燥していて風通しも良く、また、植物相も比較的単純で、東斜面の溪谷側と好対照をなしている。

しかし、この地域の植物のなかには、蝶との関係に於いて、貴重なものが含まれており、妙見方面から金山峠付近まで延びようとしている林道のルート、工事方法、土砂の取り扱い方、林道の目的如何によっては、憂慮すべき事態が充分予想される。

蘇武ヶ岳山頂付近は、温帯の標高1,000 m前後の山の特徴である落葉広葉樹林が見られる。草原状になった眺望のきく頂上部は、山歩きをする人達の憩いの場となっている。植生は、疎密入り混っており、部分的には植林も行なわれていて、伐採後の二次的様相を示している場所もある。ブナ・ミズナラなどの落葉広葉樹林内は、動植物にとって、物理的に安定した環境となっていると思われる。

この山系を貫通予定の大幹線林道2号線の工事は、妙見と三川・神鍋の両側より進められており、金山峠・蘇武ヶ岳間を残すのみとなっている。金山峠にも、8月中旬時点で、工事用の杭が打たれており、カシワ林を林道が貫通するのも時間の問題であるようだ。

林道工事が既に行なわれた神鍋側の状況は、どうであろうか。そこでは、林道沿いに、植林の前段階として樹皮をはがされた枯木が立ち並び、そこから裸の斜面が谷へと落ち込み、“死の眺め”ともいふべき異様な光景が広がっていた。

林道の延長とともに、そこに生息している動植物の生活環境が壊され、狭められつつある現況である。

目録

1978年度に、我々が、この地域で、採集記録した種を掲げた。科名、種名の前の番号は、谷角(1978)が使用した番号をそのまま用いることとし、新たに記録さ

れたものには、順次、新しい番号を与えることにした。したがって、過去に記録のある科、種で、'78年度、採集していないものは、番号がとぶ結果となった。また、今回、新しく記録追加された種には、特に、☆印を付け、従来より記録されているものと区別した。

尚、採集地については、当初、環境別に詳細に述べるつもりであったが、“マニア”への採集案内となってしまうことを懸念したため、不本意ながら、総て、金山・蘇武山系産として扱うこととし、特に、明記は控えた。

I. HESPERIIDAE セセリチョウ科

1. *Daimio tethys* MÉNÉTRIÈS ダイミョウセセリ
1978-V-12 1♂ (木下賢司)

2. *Choaspes benjaminii* GUÉRIN-MÉNÉVILLE アオバセセリ
1978-V-12 1♂ (木下)

4. *Ochlodes venata* BREMER & GREY コキマダラセセリ
1978-VII-8 2♂♂ (木下)
1978-VII-29 1♀ (谷角素彦)
ほか1例

5. *O. ochracea* BREMER ヒメキマダラセセリ
1978-VII-29 1♂ (谷角)

6. *Potanthus flavum* MURRAY キマダラセセリ
1978-VII-1 1♂ (木下)

7. *Isoteinon lamprospilus* C. & R. FELDER ホソバセセリ
1978-VII-14 1♂ (木下)

8. *Pelopidas jansonis* BUTLER ミヤマチャバネセセリ
1978-V-12 2♂♂1♀ (木下)
1978-VII-29 1♀ (谷角)

- ☆9. *Erynnis montanus* BREMER ミヤマセセリ
1978-V-3 1♂ (足立義弘)

1978-V-12 1♂1♀ (木下)

☆10. *Bibasis aquilina* SPEYER キバネセセリ

1978-VII-16 1♂ (木下)

1978-VII-18 1♂ (木下)

☆11. *Aeromachus inachus* MÉNÉTRIÉS ホシチャバネセセリ

1978-VII-8 2♂♂ (谷角)

1978-VII-14 4♂♂ (木下)

ほか1例

☆12. *Pelopidas mathias* FABRICIUS チャバネセセリ

1978-VII-29 1♂ (谷角)

II. PAPILIONIDAE アゲハチョウ科

3. *Papilio machaon* LINNAEUS キアゲハ

1978-V-12 1♂ (木下)

☆10. *Luehdorfia japonica* LEECH ギフチョウ

1978-V-3 1♀ (足立)

☆11. *Atrophaneura alcinous* KLUG ジャコウアゲハ

1978-V-12 1♀ (木下)

III. PIERIDAE シロチョウ科

1. *Eurema hecabe* LINNAEUS キチョウ

1978-V-12 1♀ (木下)

3. *Pieris melete* MÉNÉTRIÉS スジグロシロチョウ

1978-V-12 1♂ (木下)

1978-VI-24 1♀ (谷角)

4. *Anthocharis scolymus* BUTLER ツマキチョウ

1978-V-12 1♂1♀ (木下)

- ☆5. *Pieris rapae* LINNAEUS モンシロチョウ
1978-V-12 1♂ (木下)
- ☆6. *Colias erate* ESPER モンキチョウ
1978-V-12 1♀ (木下)
- ☆7. *Pieris napi* LINNAEUS エゾスジクロシロチョウ
1978-VII-1 1♂ (木下)
1978-VII-3 1♂ (木下)

IV. LYCAENIDAE シジミチョウ科

1. *Araragi enthea* JANSON オナガシジミ
1978-VII-8 1♂ (木下)
1978-VII-16 2♂♂ (木下)
2. *Antigius attilia* BREMER ミズイロオナガシジミ
1978-VI-24 3♂♂1♀ (足立・谷角)
ほか数例.
3. *Neozephyrus tazila* BREMER ミドリシジミ
1978-VI-27 2♀♀ (木下)
1978-VII-29 1♂ (谷角)
4. *Favonius ultramarinus* FIXSEN ハヤシミドリシジミ
1978-VII-8 5♂♂8♀♀ (足立・谷角)
1978-VII-14 3♂♂3♀♀ (木下)
ほか数例.
5. *Rapala arata* BREMER トラフシジミ
1978-V-3 1♂ (足立)
1978-V-12 1♂1♀ (木下)
6. *Spindasis takanonis* MATSUMURA キマダラルリツバメ
1978-VII-8 8♂♂ (足立・木下・谷角)

8. *Lycaena phlaeas* LINNAEUS ベニシジミ
1978-V-12 1♀ (木下)
9. *Taraka hamada* DRUCE ゴイシシジミ
1978-VI-27 1♀ (木下)
1978-VII-8 1♀ (谷角)
10. *Pseudozizeeria maha* KOLLAR ヤマトシジミ
1978-VII-3 1♂ (木下)
11. *Celastrina argiolus* LINNAEUS ルリシジミ
1978-V-3 1♂ (足立)
- ☆12. *Narathura japonica* MURRAY ムラサキシジミ
1978-VII-8 1♀ (谷角)
1978-VII-18 1♀ (木下)
ほか2例.
- ☆13. *Ussuriana stygiana* BUTLER ウラキンシジミ
1978-VII-8 1♀ (足立)
- ☆14. *Iratume orsedice* BUTLER ウラクロシジミ
1978-VI-24 4♂1♀ (足立・谷角)
- ☆15. *Japonica lutea* HEWITON アカシジミ
1978-VI-24 2♂ (足立・谷角)
- ☆16. *Wagimo signata* BUTLER ウラミスジシジミ
1978-VI-24 1♀ (谷角)
1978-VI-26 1♂ (木下)
1978-VII-8 1♂1♀ (足立)
ほか1例.
- ☆17. *Antigius butleri* FENTON ウスイロオナガシジミ
1978-VI-27 1♂ (木下)

- ☆18. *Chrysozephyrus aurorinus* OBERTHÜR アイノミドリシジミ
 1978-VI-24 1♂ (足立)
 1978-VII-1 1♂ (木下)
- ☆19. *C. smaragdinus* BREMER メスアカミドリシジミ
 1978-VI-27 2♂♂ (木下)
 1978-VII-1 1♀ (木下)
- ☆20. *C. hisamatsusanus* NAGAMI & ISHIGA ヒサマツミドリシジミ
 1978-VI-27 1♂1♀ (木下)
 1978-VII-9 1♂ (足立)
- ☆21. *Favonius jezoensis* MATSUMURA エゾミドリシジミ
 1978-VI-24 1♂2♀♀ (足立・谷角)
 1978-VII-1 2♂♂3♀♀ (木下)
 ほかに2例.
- ☆22. *F. orientalis* MURRAY オオミドリシジミ
 1978-VI-24 5♂♂ (足立・谷角)
 1978-VI-28 3♂♂ (木下)
 ほかに1例.
- ☆23. *F. cognatus* STAUDINGER ジョウザンミドリシジミ
 1978-VI-24 3♂♂2♀♀ (足立・谷角)
 1978-VII-9 1♀ (木下)
- ☆24. *Quercusia fujisana* MATSUMURA フジミドリシジミ
 1978-VI-25 1♂1♀ (足立)
 1978-VII-1 1♂ (木下)
 ほかに1例.
- ☆25. *Celastrina sugitanii* MATSUMURA スギタニルリシジミ
 1978-V-3 4♂♂1♀ (足立)
 1978-V-12 2♂♂3♀♀ (木下)
 ほかに1例.

- ☆26. *Everes argiades* PALLAS ツバメシジミ
1978-V-2 2♂♂ (木下)

VIII. NYMPHALIDAE タテハチョウ科

1. *Melitaea diamina* LANG ウスイロヒョウモンモドキ
1978-VII-8 2♂♂ (足立・木下)
1978-VII-16 1♀ (木下)
2. *Argyronome ruslana* MOTSCHULSKY オオウラギンスジヒョウモン
1978-VII-8 1♂ (木下)
3. *Nephargynnis anadyomene* C. & R. FELDER クモガタヒョウモン
1978-VII-8 1♀ (足立)
4. *Argynnis paphia* LINNAEUS シドリヒョウモン
1978-VII-8 1♀ (木下)
5. *Fabriciana adippe* LINNAEUS ウラギンヒョウモン
1978-VI-25 1♂ (足立)
7. *Limenitis camilla* LINNAEUS イチモンジチョウ
1978-VII-29 1♂ (谷角)
8. *Neptis sappho* PALLAS コミスジ
1978-V-12 1♂ (木下)
1978-VII-29 1♂ (谷角)
10. *Araschnia burejana* BREMER サカハチチョウ
1978-V-3 1♂ (足立)
1978-V-12 1♂ (木下)
- ☆15. *Argyreus hyperbicus* LINNAEUS ツマグロヒョウモン
1978-VII-18 1♀ (木下)

- ☆16. *Nymphalis xanthomelas* DENIS & SCHIFFERMÜLLER ヒオドシチョウ
1978-VII-8 1♀ (木下)
- ☆17. *Kaniska canace* LINNAEUS ルリタテハ
1978-VII-8 1♂1♀ (木下)
- ☆18. *Apatura ilia* DENIS & SCHIFFERMÜLLER コムラサキ
1978-VII-8 1♂ (木下)
- ☆19. *Sasakia charonda* HEWITSON オオムラサキ
1978-VII-1 1♂ (木下)

IX. SATYRIDAE ジャノメチョウ科

5. *Neope nipponica* BUTLER ヤマキマダラヒカゲ
1978-V-12 1♂1♀ (木下)
1978-VI-25 1♂ (谷角)

まとめと今後の方向

以上の記録を踏まえて、過去、この地域で、我々が記録確認した種類をまとめたのが、表1である。昨年の報告では、55種だったことを考えると、ますますの

表1 金山・蘇武山系に於ける蝶類の既知種類数

FAMILY		NO. OF SPECIES
I. HESPERIIDAE	セセリチョウ科	12
II. PAPILIONIDAE	アゲハチョウ科	11
III. PIERIDAE	シロチョウ科	7
IV. LYCAENIDAE	シジミチョウ科	26
V. CURETIDAE	ウラギンシジミ科	1
VI. DANAIDAE	マダラチョウ科	1
VII. LIBYTHEIDAE	テングチョウ科	1
VIII. NYMPHALIDAE	タテハチョウ科	19
IX. SATYRIDAE	ジャノメチョウ科	6
		84

成果といえよう。これは、我々メンバーが、一年間の計画をたて、互いに忙しいなか、曲りなりにも計画実行を心掛けた賜物である。

次に、今シーズン、記録した蝶で特筆に値するものについて若干触れてみる。先ずは、キバネセセリがあげられる。この蝶の県下に於ける確実な採集記録は、福原(1977)によると、中尾淳三氏の1♂採集(1960-VII-12、大屋町若杉峠)と、福原氏採集の1♂(1973-VII-23、村岡町兎和野高原)の2例のみである。したがって、木下氏採集の2♂は、3頭目、4頭目のものと思われる貴重なものである。16日は、夕刻、飛翔中の個体を、18日は、早朝、葉裏に静止していた個体を、各々採集されたそうで、習性は、アオバセセリに近いとのことである。

この地域では、長らく確認されなかったウスイロヒョウモンモドキの再発見も、その意義は大きい。食草であるオミナエシは、比較的、目につくものの、生息数は僅少である。しかも、この地域は、この蝶の県下に於ける分布の東限であると同時に、日本に於ける分布の東限ともなっているだけに、積極的に、自然環境を、そして、この可憐な蝶を保護していきたい。

こうして見てくると、我々の採集調査も、ようやく一段落ついたかのようにであるが、今後は、採集と並行して生態観察の方面に眼を向けていのように思う。

定時になると、何処からともなく姿を現わすキマダラルリツバメには、テリトリー行動のようなものが認められたが、依然、その発生地は突止められないままである。

個体数は少ないもののエゾスジグロシロチョウの発見によって、この蝶も含めた、スジグロシロチョウ、モンシロチョウの3種について、その分布状況を植生や標高などとの関係に於いて調べることが出来れば面白karou。

また、帰化植物は、人間と共存する形で生きており、環境破壊のバロメーターとなる。人間の生活範囲の拡大とともに、帰化植物も深山へと進出していく。これらの植物を食草とする蝶の進出ぶりを調べてみるのも、新しい試みで興味深い。

おわりに

自然環境が、“開発”で狭められていく。片や、我々同好者の仲間であるはずの“マニア”と呼ばれる連中が、自然に対して、虫に対して無軌道ぶりを発揮している。我等が愛する虫たちは、この両面から徐々に攻め込まれ、その生存が脅かされている。

本来、“むし屋”は、虫を擁護する立場にあったはずではなかったのか。今や、“むし屋”は、虫のみに眼を奪われてはいけないう。もっと広い眼で虫を見つめることの出来る、ナチュラルリストたる“むし屋”が増えて欲しいと願うものは、

我々だけではないだろう。昔のように、豊かな自然の中で、虫たちと楽しくつき合っていきたいと、我々は常々思っている。

「あなた、コレクションの対象としてのみ、虫を見てはいませんか。」

参考文献

谷角素彦. 1978. 日高町金山の蝶. IRATSUME 2: 11-21

福原孝好. 1977. 兵庫県下のキバネセセリの採集記録. MDK NEWS 27: 10